

令和 2 年第 2 回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和 2 年 2 月 18 日（火曜日） 午後 1 時 48 分から 3 時 45 分まで
会議開催の場所	市役所 503 会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男
欠席委員の氏名	井上三枝・新堀陽子
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育部参事 秋馬信之・教育総務課長 荻野毅・学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・生涯学習課長 駒井実
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	0 人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・議案第 4 号から 6 号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

議案第 4 号 令和 2 年度日高市一般会計予算（教育委員会所管）

原案どおり可決

議案第 5 号 令和元年度日高市一般会計補正予算（第 9 号）（教育委員会所管）

原案どおり可決

議案第 6 号 令和 2 年度当初日高市立小・中学校長及び教頭の人事の内申について

原案どおり可決

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 令和 2 年度当初教職員人事の状況について、新採用教員の採用が減っている状況であるが、全体での人数は減っているのか。子どもが減っている中で、学級数も減ることに伴い教職員も減ることになるのか。

(学校教育課長) 学級数は確かに減るが、定数以外の加配教員がいるため同程度の人数が見込めるところである。

(教育長) 現在は、県内においても学級数が減ってきているため、どちらかというところと過員状況であるので、加配教員に本採用職員を充てて良いことになるなど状況が変化している。

(委員2) 次回の会議の際に、定数と加配教員を含めた人数の一覧表があると分かりやすいのではないか。

(学校教育課長) 次回会議の際に用意する。

【教育長報告：資料1 関連】

(委員) 次年度へ向けての中で、今年度も残りわずかということで、今までの取り組みを改めて見直したり考えなおしたりすることも必要であろうとあるが、この考えに至ったきっかけは何か。

(教育長) 以前から思っていたことではあるが、ここで、東京都の麴町中学校長が大胆な改革を進めている内容などの書籍を何冊か読んだところ、例えば、定期テストは本当に必要であるかとか、校則はどこまで必要なのかなど根本的な部分の見直しをしており、小中一貫教育を進めていく中で、取り組みを見直す良いきっかけになると考えられたところである。

(委員) 具体的な事例を挙げて指示するほか、下からの考え方の改善や改革を上がどこまで容認できるかなどが分からないと改善案などは出てこない。公務員の視点からだけでは、独自性のある発想は、なかなか出てこないと考える。例えば、始業や授業のチャイムが必要なのかなど、そういった発想が、その職場の文化に染まった職員が出せるかということが問題ではないか。

(教育長) 小中一貫教育の準備を進めているこの機会に、いろいろな改善も出るなど、いろいろな取り組みの見直しの考え方が出てきているところである。麴町中を真似るとかそういった話ではなく、学校で実施していることを前例ではこうだったからと言って、そのまま実施していくのではなく見直していく事が重要ではないかという考え方である。

(委員) このような場合、視点が同じ部分や型にはまった考え方をしていないと、そういった改善点を思いつくのは難しいのではないか。考え方に柔軟性を持たせるためには、首長などの上の方針を示して広い枠組みでやっているという安心感を与えてあげないと、良い発想が生まれるものではない。

(教育長) 職員から改善の発想が生まれたときに、言いやすい環境づくりにも取り組んでいく必要も感じている。

(委員2) いざ職員が見直した内容について、せっかく意見を出しても、首長などが梯子を外すようなことがあると、みんなが声を上げられる土壌は生まれない。

(委員) 広く寛容性を持って取り組んでもらいたい。

(委員) いじめ問題専門委員会での意見として、認知率が上がった要因を分析すべきとあるが、この認知率とは何を指しているのか。

(学校教育課副参事) いじめの認知として、子どもたちがいじめと感じたものは全て吸い上げていこうというもので、漏れがないように認知とするものである。

(委員) 入間地区公民館研究集会での講演について、虐待をしてしまった親の孤立について視点を当てての内容とあるが、テーマを判断すると、子どもへの育成の前に、まず親の教育が重要であると思われるが、この内容がコミュニティ・スクールの根源につながるものとする。小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進する上で、この内容をどう取り組んでいくかが重要である。

(教育長) この事例については、家族、親族の助けもなく、周囲の助けもなかった内容であった。これから考えると、家族、親族の助けがない場合でも地域の助けや親への教育や相談を受けられるように取り組んでいかなければいけないものであると感じたところである。まさにコミュニティ・スクールの考え方である。

(委員) 教職員の事故について、今回は買春により逮捕という話があったが、異性からみの事件として40代から50代が多いと感じる。近隣市であり、対象者の人となりもわかると思うので、良く事例分析をするようにお願いしたい。

(教育長) 県でも分析をしているところであるが、教員としては、とても良い先生であると評判の方であった。しかしながら、指導の部分が良くても、性格の部分は違う場合もあり、職員の深い部分まで把握していくのは、難しい部分もあるが、事例分析を進めて事件を防げるようにしたい。

(委員) 公民館の来場者数の増加へ向けてということであるが、基本的に来場者については、高齢者に依存している状況と考えられる。高齢者と子どもの数を比較した場合、子どもの数が少ない中で、子どもを対象として来場者数を増やすのは限度がある。反対に高齢者に来場していただくにしても、高齢者のうちさらに高い年齢の方に来場いただくことは、元気に歩ける方の2割程度を見込むことが限界であるとする。団塊の世代にどのように参加していただくか、または生産者年齢にあたる30歳代から40歳代の世代の方にどのように参加していただくかを考えていく必要がある。今は公民館事業の内容として、健康講座などのテーマが多いが、働いている方にも興味のあるようなテーマの講演を行うなどにより、利用総数を見るのではなく、それらの方に新規に利用していただきリピーターになってもらわないと実利用人数は減少していくと考えられる。各公民館地区の人口分布を見ながら、それぞれテーマを持って取り組む方が良い。

(教育長) たまたま先日、高麗川南公民館の事業で子どもを対象とした合唱のイベントがあったが、当日はホールがいっぱいになるほど地元の高齢者の方などが来場された。子どものイベントから派生して呼び込めるということも感じたところである。

(委員) 公民館事業の情報提供の方法であるが、今は公民館だよりが主であるが、

これを読む年齢層は固定されていると思われる。新規に呼び込むのであれば情報提供の方法については、良く検討するべきである。例えば、働いている方を呼び込む目標とするならば、駅に簡易なパンフレットやポスターなどを備えて、出退勤時に広く周知が可能になるなど様々な方法が考えられるのではないか。日高市商工会が実施している内容が、非常に目を引くと感じるので参考にすると良い。
(教育長) 周知の方法を工夫していきたい。

(委員) 公民館行事などでの新型コロナウイルス対策について、防御策に限界はあるが、アルコール消毒のみならず塩素消毒をしっかり実施したほうが良い。事業の実施の判断については、現時点において、大きなイベントの実施は難しいのではないか。個々の事業で判断していく事にはなるが、実施にあたっては、徹底的に消毒などの対策をとる必要があると考える。

(生涯学習課長) 状況を見ながら適切に判断していきたい。

(教育長) 市全体の考え方もあるので、市内部で調整しながら状況を見極めていく。

(委員2) 学校関係で、今回のようなケースについて、対応マニュアルなどの整備依頼や対応方針について、県からの通知は来ているのか。

(教育部参事) 季節性のインフルエンザや風邪と同様の対策をとるように通知が来ているところである。ここで、手洗い、換気、湿度を保つことについて、各学校へ通知したところである。また、これらの実施状況について、各学校からアンケート調査を実施したところ、概ね実施されているが、消毒などの在庫が不足するかもしれないという学校も出てきている。学校間で融通するなどの措置で対応していきたい。

(委員2) 学校行事についての件からの指示は。

(教育部参事) まだ、特段の指示はない。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

議案第4号について

(委員) 教育費の歳出について、保健体育費が増加して理由は。

(教育総務課長) 給食センターの設備更新とひだかアリーナの屋根の改修が大きな増加理由である。

(委員) 教職員指導書整備事業について、教職員全員に配付するのか。

(学校教育課副参事) 学年に1冊であるとか教科で1冊程度の配付で考えている。

(委員) デジタル教科書は入っているのか。

(学校教育課副参事) 理科だけ対応する予定である。

議案第5号について

質疑なし

議案第6号について（非公開）
非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

- 3月定例会：3月18日（水曜日）午後1時40分から 委員了承
- 4月定例会：4月24日（金曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

- 令和元年度中学校卒業式
3月13日（金曜日）午前
- 令和元年度小学校卒業式
3月24日（火曜日）午前
- 新採用・転入教職員着任式・歓迎会
4月1日（水曜日）午後2時から【生涯学習センター】
- 令和2年度小中学校入学式
4月8日（水曜日）午前【各小・中学校】
- 令和2年度入間地区教育委員会連合会総会
4月22日（水曜日）午後【入間市】